

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB



■発行：(公社)鹿児島県工業倶楽部 ■企画・編集：総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町 9-1 県産業会館内
TEL 099-225-8012 FAX 099-225-8020 <http://www.ikick.or.jp> E-mail: info@ikick.or.jp



平成29年度 公益社団法人
鹿児島県工業倶楽部通常総会
岩元会長が鹿児島大学友好大使に就任
“西郷どん”に学ぶモノづくりセミナー開催
若者の雇用枠拡大について
各種活動紹介
新会員情報

ケイピング（沖永良部島）

平成
29年度

公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部通常総会

◆日時 / 平成29年5月24日(水) ◆会場 / 城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)



岩元正孝会長



小林洋子副知事(鹿児島県)



前田芳實学長(鹿児島大学)



大木公彦氏(鹿児島大学名誉教授)



島元紗希氏



林建設(株)



(株)DIT



(株)下堂園

平成29年度通常総会が開催され、平成28年度事業報告及び決算についての承認及び平成29年度事業計画及び収支予算についての報告がなされました。

総会の閉会後は、鹿児島大学名誉教授の大木公彦先生が「鹿児島の大地の恵み～島津義弘公の城下町から錦江湾のレアメタルまで～」という演題で講演され、世界的に見てもすばらしい鹿児島の自然についての説明を聞いて、鹿児島の魅力を再認識することができました。

また、プレゼンテーションコーナーでは、「島元紗希氏：鹿児島大学工業倶楽部賞受賞記念(農学)」「林建設(株)：日本初 夜間売電型メガソーラー」「(株)DIT：巨大地震に耐え抜く住宅づくりを目指して」「(株)下堂園：これがお茶!?お茶で新製品」の4社(者)による新製品等のPRがなされ、会員の皆さんのパワーを感じるダイナミックなステージとなりました。



議長 佐々木一朗氏



三反園知事も交流パーティーに参加



岩元会長が鹿児島大学友好大使に就任！

6月13日（火）に、岩元会長が、前田鹿児島大学学長から鹿児島大学友好大使の委嘱を受けました。鹿児島大学友好大使とは、鹿児島大学の教育・研究及び社会連携活動等を支援する方々に委嘱されているもので、これにより、今後工業倶楽部と鹿児島大学の連携・協働が益々深化していくことが期待されます。



平成29年度「特産品と明治維新150周年事業」 「西郷どん」に学ぶモノづくりセミナー」開催

6月9日（金）に、鹿児島県県産品愛用運動推進協議会、公益社団法人鹿児島県特産品協会との共催で開催しました。平成30年は明治維新から150周年の節目を迎え、さらにNHK大河ドラマ「西郷どん」放映も決定したことから、当時の偉人や地域、歴史に根ざしたストーリーある売れるモノづくりを支援しようと開催したもので165名が参加しました。原口泉鹿児島県立図書館長の「西郷どんが愛した特産品」という講演の後、鹿児島大学産学官連携推進センター知的財産部門長の高橋省吾教授が「西郷どんに学ぶ～商標権のい・ろ・は話し～」と題して講演しました。

会場では、工業倶楽部の知財総合支援窓口担当者による、商標等の知的財産権に関する個別相談会も開催され、相談客でにぎわいました。



原口泉氏講演（鹿児島県立図書館長）



「若者の雇用枠拡大について」

5月29日（月）に、鹿児島労働局、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市から、若者の雇用枠拡大について要請がありました。以下、工業倶楽部へお見えになった方々です。

- ・鹿児島労働局（江原由明局長）
- ・鹿児島県（酒匂司商工労働水産部長）
- ・鹿児島県教育委員会（古川仲二教育長）
- ・鹿児島市（山下正昭産業局長）

（応対者：本村嘉啓副会長）



各種活動紹介

出水地区プラザ

出水地区プラザが、2月16日（木）に出水市市民交流センターで開催されました。今回初めて、鶴田均さんが幹事役として企画していただきました。講演は「北薩の豊かな海」ということで、阿久根市水産林務課の大石水産係長にお願いし、北薩の海の生物の生態や豊かな海の恵みについて学びました。



大石氏講演風景
（阿久根市水産林務課）

若手経営者の会

非公式の会ではありますが、会報で紹介した若手経営者を中心に、2ヶ月に1度のペースで開催しています。5月9日(火)は、アルバック九州の山口常務取締役が真空について講義と実験を実施。ビンを使った真空の実験で大いに盛り上がりました。



二水会

5月10日(水)に開催し、3社がビジネスプランを発表しました。①**有限会社エール(指宿市)**、「オクラ」を活用した新たな素材「オクラ種子エキス」「オクラパウダー」及び同素材を活用した新商品(化粧品、食品等)の販路拡大 ②**加治木産業株式会社(始良市)** 機械設計、電気設計の技術を活かした自社製品(卓上IH攪拌機、バウムクーヘンオープン、6軸ロボットアーム等)の販路拡大 ③**協和食品工業株式会社(鹿児島市)** 独自の製法により油っぽくなくサクサクに仕上げた「あげ玉」を用いたスナック菓子「シェイク de チャチャチャ」の販路拡大

プロジェクトチーム郡山

地域資源活用プラザとして5月31日(水)に開催。



いもづる、さつま、さくらじま

6月9日(金)、プラザいもづる・プラザさくらじま・さつまプラザの合同定例会が開催されました。今回は(有)マチダ商事の板山英史さんを講師に迎え、「家庭で作れるレアチーズケーキタルト」に挑戦しました。苦戦しながらも楽しく和やかなひと時でした。



84 プラザ

5月15日(月)の84プラザでは岩元会長が講師ということで、カクイ(株)が開発した高性能の工場排水処理フィルター「LXシート」について説明を受けました。LXシートは、既存の製品に比べて油吸着量約4倍、水の浸透速度1.1倍で、コスト低減にも役立つとのことでした。



始良・霧島地区プラザ

5月11日(木)に始良市の豚珍館で開催し、全ての肉・魚類を有効活用するヨネマスメソッドについて学びました。



工農連携(オランダに学ぶ) 研究会現場視察

2月21日(火)に現地視察を実施しました。

まずは、鹿児島市の有村ファーマーズを訪問、搾乳等をロボットで行うロボット活用型畜産を視察しましたが、畜舎の掃除から搾乳・エサやりまで、人間が全く牛に手をふれなくて管理できるのには驚きました。

そして次は、さつま町のトマトロックウール団地を視察。



土の代わりにロックウールを使って非常においしいトマトを作っていました。



八日会 ベトナム視察旅行

Vietnam Inspection Trip

工業倶楽部八日会 ベトナム視察旅行

国内の人口減少傾向にある現代において県内でも外国人の受入れが増え、さらに中国人からアセアン諸国人へと急速にシフトしています。そこで親日国家「ベトナム」の政府公認人材育成・派遣企業を視察して参りました。

参加者



(株)丸松
代表取締役
松下 謙一



(株)マツオ
代表取締役
山下 健次



インターマン(株)
取締役副社長
上田平 美嗣



(株)ランドアート
本店営業所
橋本 裕次



CCP(株)
テクニカル・コーディネーター
小谷 俊明



技能実習生送り出し機関「株式会社エー・ディー・シー(ADC)」へ企業訪問いたしました。

「株式会社エー・ディー・シー(ADC)」とは？

ベトナム労働省に認可されている日本語学習付職業訓練及び人材育成企業です。特徴は、全寮制と6ヶ月間に及ぶ日本語教育にあり、全寮制という集団生活を通じて、日本の生活習慣や企業マナーなどを学び、日本社会に適應する人材を日本及び日系企業に送り出しています。送り出した人材は、日本の企業から高い評価を得ています。



全校朝礼



日本語授業



ゴミ分別指導



日越文化交流教室



上級生クラス(6ヶ月経過後)

「株式会社エー・ディー・シー(ADC)」企業訪問を終えて

国内の人口減少から日本人の人材確保が益々難しくなっている現状で、鹿児島県工業倶楽部のメンバー企業でも、海外からの優秀で高度な人材を受け入れ、企業を存続・発展させたいというニーズをお持ちの会社様が多数あります。

今回視察団長をお願いした(株)丸松の松下社長様の製造事業でも国内での製造に限界を感じ、早くから中国国内を始め、アセアン諸国へも単独で足を伸ばして各国を視察されております。その中でも、親日国であり、生活習慣・食事が日本人に近いベトナム内で、人材育成・派遣までを実施している企業視察が出来ないものと検討調査し、今回の視察旅行に至りました。

政府公認の育成・送り出し企業ADCは日本語教育から日本のルールや習慣まで全寮制で教えておられ、鹿児島県と長いお付き合いが出来ればと願う視察旅行となりました。



ホーチミン市中心部

ADC本部

フォー(米粉類)

ジャングルツアー



共に鹿児島の産業を興し造っていきましょう。



二井 晋 (鹿児島大学工学部 環境化学プロセス工学科 教授)

伝統ある工業倶楽部に入会させていただき、感謝申し上げます。私は、化学工学(物質の分離に関する分野)を専門として、これまでは名古屋で教育と研究を行ってきました。御縁をいただき平成27年4月に鹿児島大学に赴任いたしました。簡単に使えて優れた技術の開発を目指し、「泡」を用いたレアメタルの分離、超音波を用いる植物に含まれる成分の抽出や超音波でつくった霧による成分の濃縮に関する研究を行っています。これから、倶楽部の皆様とともに、鹿児島に役立つ技術をつくり、元氣な学生を育てることを楽しみに思います。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



福山 誠 (A&Mコンサルタント(有))

この度、本倶楽部に入会させて頂きました。A&Mコンサルタント(有)という会社に所属しており、主に国際協力機構(JICA)のコンサルティングを行っております。本社は横浜にありますが、在宅勤務という形で鹿児島市に居住しております。青年海外協力隊(タンザニア、森林経営)の経験を含め、これまで約30年間に亘り、主に森林・林業、農業・農村開発といった分野において発展途上国の開発に携わってきました。これまでの経験を生かし、今後、JICAの中小企業海外展開支援事業等にも挑戦したいと考えておりますので、会員の皆様方からのご指導・ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



古田 智基 (株式会社DIT 代表取締役 第一工業大学 教授)

この度入会させて頂きました「株式会社DIT」です。弊社は第一工業大学発ベンチャー企業として本年2月に設立し、学内で商品化した木造住宅向け「DIT制震筋かい金物」の販売を主に、制震デバイスの開発、耐震診断、耐震補強設計業務等、建築構造物の耐震(構造)に特化した会社です。現行の耐震基準を満足した木造住宅においても震度6強以上の地震を経験すると、接合金物の損傷および木材のめり込み等により剛性ならびに耐力が急激に低下し、大きな余震に耐えることができるか定かではありません。安全・安心住宅の提供に貢献して参りたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。



四元 重美 (NPO法人マンガプロジェクト鹿児島)

この度、歴史ある本倶楽部に入会させて頂き感謝いたします。私は現在NPO法人マンガプロジェクト鹿児島に所属し、企業・団体向けに漫画を活用した広告・広報活動の提案を行っております。以前は「単なる娯楽」としか評価されなかった漫画がビジネスにも活用できるということが知られるようになり今から7年ほど前に団体を設立しました。元々私は広告会社でいかにわかりやすく心に残るメッセージを発信するかに意を注いできたのですが、とするとテクニックに走りがちな傾向もありました。本会に所属させていただき様々な経験を持った会員の皆様方と交流することによってもう一步の成長ができるのではないかと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



貫見 菜月 ((有) 南九州きのこセンター、鹿児島の大隅出身)

私は、物心ついた時から美容のことしか頭にありませんでした。幼いころから、毎日毎日髪の毛のことはばかり考えており、その結果、念願の美容師の道に進み邁進してきました。ニューヨークで二年間生活をした際に、アメリカの八百屋で買った野菜を生そのまま食べた時の衝撃がすごかった!!とんでもなくおいしくなかったのです。この時、日本の農業の技術は素晴らしいと思い、日本に帰国後農業の道に入りました。まだどどど素人ですので、たくさん勉強させてください。よろしくお願いいたします。

繋がりをつくり、新しい風をおこしましょう。

米増 昭尚(有限会社 鹿児島ますや 代表取締役)



この度工業倶楽部に23年ぶりに再入会させて頂きました。

前は1989年から1994年まで90年プラザとして活動しておりました。現在弊社は、始良市において黒豚『短鼻豚』(タンビトン)を原料にした無添加ハム・ソーセージの製造・販売及び黒豚専門無添加料理店『豚珍館』を運営しております。20年前は無添加食品に対する評価は低かったですが、東京オリンピックを控え昨今は首都圏を中心として関心を持つ人が徐々に増えている現状です。ここ数年「ヨネマス メソッド」と言う無添加加工技術確立し、この技術を応用した黒豚、鶏、魚等の無添加常温流通ウィンナー「プレミアムウィンナー」も開発しました。このメソッドを日本各地に普及させ、日本の過疎地域に産業を興し日本を元気にしたいと思っておりますので、工業倶楽部の皆様には何卒宜しくご指導・ご鞭撻の程お願い致します。

叶内 宏明(鹿児島大学共同獣医学部 准教授)



工業倶楽部に入会させて頂き有り難うございます。

共同獣医学部で生化学、分子生物学の講義を担当していますが、専門は栄養学です。研究は食品成分による疾病の予防効果の評価とそのメカニズムの解明に取り組んでいます。認知症、がん、サルコペニアなど高齢化に伴いリスクが高まる疾病を対象にしています。健康増進効果を狙った製品開発などで微力ですが貢献できればと思います。また専門外の分野についても勉強していきたいと思っております。ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

加治佐 三広(株式会社寺田製作所 九州支社支社長)



この度、1月から鹿児島県工業倶楽部に入会させて頂き有難うございます。私は(株)寺田製作所という製茶機械メーカーに勤務しています。弊社は今年106年目を迎え、長年製茶機械を中心にお茶の品質向上・省力化をテーマにお客様の笑顔を見ながら歩んでまいりました。特に食品を乾燥する技術は優れていると自負しております。近年は食品の多様化が進み、時代のニーズに合った商品開発が求められています。これから皆様のご指導を仰ぎながら更なる商品開発を行い、地域貢献できるようにと思っています。よろしくお願い申し上げます。

辻 三次(さつま亭 代表)



南さつま市加世田で、40数年夫婦力を合わせて「さつま亭」を運営しています。毎日笠沙地区の野間池まで地元で水揚げされた新鮮な魚を仕入れ、地元の農水産物やスッポンを使った多彩な料理を提供して、来店されたお客様も大満足で喜ばれています。料亭をする傍ら地元の食材を使った商品開発にも取り組み、黒豚みそ、ぶりのねぎみそ、きんかんみつ煮のほか、以前から考えていた笠沙でとれたボラの卵を使ったカラスミを開発し、県外からの注文にも対応しています。また、ふるさと納税の返礼品として、スッポン鍋、きんかん鍋を商品として開発し、鍋シーズンは注文に追われていますが、忙しさが元気の素と思って頑張っています。



《ご利用ください》

公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ出向・移籍等の

送出企業

お手伝いをしています

受入企業



産業雇用
安定
センター



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。
マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。
(ご利用は無料です)

- 原則離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。

- 経験豊富な講師が、各種セミナー（有料）も行います。

- 平成28年4月からの事業

「高年齢退職予定者キャリア人材バンク事業」と
「試行在籍出向プログラム」を実施しています。

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人
産業雇用安定センター
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

